



薫小だより

「気づき・考え・行動する 薫の子」



郡山市立薫小学校

学校便り No. 2

令和5年 4月14日

文責：校長 齋藤和彦

入学式にて（式辞より）

新入学児童 80 名を迎えて、校長式辞の中で、保護者の皆様に次のこととお話しました。

『（略）子どもは、親が心配するより、ずっとたくましいものです。心配を数えればきつときりがありません。「できないと、かわいそう」「まちがったら、かわいそう」「忘れたら、かわいそう」「転んだら、かわいそう」「叱られたら、かわいそう」等々。

ある教育学者は、このように言いました。「親の役目は、子どもを転ばない子に育てるよりも、子どもが転んだときに、自分で起き上がろうとする子にすることです」と。

これからの学校生活においても、子ども達は、まちがったり、失敗したり、友達にまちがったことをしてしまったり、文字通り、転ぶことがあることでしょう。

私たちは、こんな時こそ、子どもを成長させるチャンスととらえます。今まで、できなかったことや気づけなかったことを知るチャンスと考えます。

ご家庭でもぜひ、失敗して「ごめんなさい」が言えたとき、間違っても「次にまたがんばる」と自分で立ち上がったときは、たくさんほめてあげてください。

きっと、またほめてもらえることがうれしくて、自分で立ち上がろうとする子に..やり遂げようとする子に成長することと思います。（略）』

近未来の予測さえも困難な時代をたくましく生きていく子ども達..の小学校6年間のステージが幕を開けました。

ご家庭での夕食時の話題にでも..と記載しました。



校長の独り言（ひとりごと）

- ◎ 朝の登校路～1年生の手をつないで.. ゆっくりと歩いて来る姉妹..「すてき！」
- ◎ 一人でも、ちゃんと自分の足で歩いて来る黄色い帽子の1年生..「かっこいい！」
- ◎ 薫の子..やさしくて、がんばる..いい子だな

改正道路交通法～4/1 施行

4月1日より、自転車に乗る全年齢の人にヘルメット着用が努力義務となりました。

警察庁によると、2022年に全国で起きた自転車に乗った人の交通事故で、死傷者のヘルメット着用率は、わずか9.9%でした。

死者の半数が頭部に致命傷を負っていたとのこと。

薫小学校のよい子の約束では、自転車に乗るときは必ずヘルメットをかぶります。



◆◆ 校長室より ◆◆

4月21日（金）火災発生を想定した避難訓練が予定されています。（避難経路の確認）

～あらためて、緊急時対応を考えます～

目的は＝学校/職員が児童の『命』を守るため
基本姿勢は＝災害発生時の緊急対応では、校長の判断において「子どもの安全・命を守ることを最優先に【特別警戒態勢】配備します。

この場合、『躊躇なく、最悪の事態を想定した警戒態勢＝最も臆病な判断』を選択するつもりです。もしかしたら、保護者や地域の方々から「そこまでしなくても..」「ちょっと大げさでは..」と言われることがあっても、子ども達の命が守れたならば、後は、「大げさな判断でしたが、子ども達の命が無事でよかったです。すみません..」の覚悟です。

<窮極..緊急事態の判断と覚悟>

東日本大震災を経て、宮城県のある警察署長さんは、「30分で津波が来るなら、避難誘導は最初の15分で終えて、逃げなさい。残りの15分は自分も高台に避難しながら、大声で避難を呼びかければいい」と。

若い警察官たちにそう教え、そして、話を続けた。『飛行機の客室乗務員は、乗客より頑丈なベルトで固定されている。不時着した後、多くの乗客を機外に避難させることができるのは自分たちだけだからです。まだ、その任務が残されているからだ』と。